



## 2025年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年8月7日

上場会社名 ユアサ・フナシヨク株式会社

上場取引所 東

コード番号 8006 URL <https://www.yuasa-funashoku.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 共之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 石橋 宏

TEL 047-433-1212

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	30,336	0.5	567	71.6	742	51.0	512	49.6
2024年3月期第1四半期	30,193	5.2	330	42.4	492	21.6	342	20.1

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 449百万円 (39.3%) 2024年3月期第1四半期 739百万円 (165.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
2025年3月期第1四半期	116.09	
2024年3月期第1四半期	76.21	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2025年3月期第1四半期	64,255	38,164	58.7	8,553.47
2024年3月期	64,407	38,158	58.6	8,552.08

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 37,744百万円 2024年3月期 37,739百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2024年3月期				100.00	100.00
2025年3月期					
2025年3月期(予想)				100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	61,500	2.7	1,000	30.1	1,200	24.6	800	57.3	181.29
通期	123,000	2.9	2,100	13.1	2,400	8.5	1,700	37.2	385.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	4,897,723 株	2024年3月期	4,897,723 株
期末自己株式数	2025年3月期1Q	484,905 株	2024年3月期	484,879 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	4,412,824 株	2024年3月期1Q	4,493,325 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(会計方針の変更に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	10
3. 補足情報 .....	10
(1) 販売の状況 .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、雇用や所得環境の改善による内需の押し上げやインバウンド需要により緩やかに景気回復が進んだ一方で、不安定な国際情勢や円安の進行、エネルギー価格の高騰等、先行きは依然として不透明な状況が続きました。

食品流通業界におきましては、消費回復が継続しているものの、原材料や輸送コスト、人件費高騰に伴う家庭用商品の値上げにより消費者の節約志向が継続するなど、企業間競争は厳しい環境が続きました。

ビジネスホテル業界におきましては、ビジネスやレジャー客及び訪日外国人の宿泊が順調に推移しましたが、依然として人手不足が大きな懸念材料となっているとともに、燃料費や物価高騰により利益が圧迫され厳しい環境となりました。

このような状況のなかで、当社グループは引き続き、地域に密着した営業を展開するとともに、商事部門では物流の効率化、ホテル部門ではお客様が快適に過ごせるサービスの提供に努めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は303億36百万円（前年同期比0.5%増）、営業利益は5億67百万円（前年同期比71.6%増）、経常利益は7億42百万円（前年同期比51.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億12百万円（前年同期比49.6%増）となりました。

#### 事業別セグメントの概況

##### ① 商事部門

商事部門につきましては、物価高騰による消費者の節約志向が継続するなか、価格競争の激化、物流コストの上昇等、依然として厳しい事業環境となりました。

このようななかで、商品供給を的確に行うとともに、新規取引の獲得、新商材の提案などを積極的に行ってまいりました。

売上高の内訳は、食品では、酒類が低調に推移しましたが、加工食品、冷凍・チルド商品、菓子、砂糖が順調に推移し前年並みとなりました。業務用商品では、燃料が販売単価の上昇により順調に推移したものの、小麦粉、油脂の販売単価の低下及び業務用食材が低調に推移し減収となりました。飼料・畜産では、飼料は養豚、養鶏の生産者向け販売数量が減少したことに加え販売単価が低下し減収となりました。畜産は枝肉及び正肉の販売単価が上昇したものの、販売数量が減少し減収となりました。米穀では、玄米の販売数量が減少したものの、精米及び玄米の販売単価が上昇し増収となりました。

その結果、商事部門の売上高は294億74百万円（前年同期比0.0%減）、営業利益は4億11百万円（前年同期比25.8%増）となりました。

##### ② ホテル部門

ホテル部門につきましては、新型コロナウイルスにより抑制されていた各種イベントやスポーツ大会及び企業研修等の再開が多く見られるとともに、インバウンド需要も順調に推移しており、稼働率回復が進み増収となりました。

その結果、ホテル部門の売上高は7億94百万円（前年同期比21.2%増）、営業利益は2億80百万円（前年同期比74.8%増）となりました。

##### ③ 不動産部門

不動産部門につきましては、賃貸料収入による売上高は68百万円（前年同期比22.3%増）、営業利益は64百万円（前年同期比19.4%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億52百万円減少し642億55百万円となりました。主な内容は現金及び預金の減少16億58百万円、受取手形及び売掛金の増加5億19百万円、建設仮勘定の増加9億74百万円などによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1億58百万円減少し260億90百万円となりました。主な内容は未払法人税等の減少8億30百万円、支払手形及び買掛金の増加7億7百万円などによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ6百万円増加し381億64百万円となりました。主な内容は利益剰余金の増加70百万円、その他有価証券評価差額金の減少49百万円、退職給付に係る調整累計額の減少15百万円などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月14日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,023	10,365
受取手形及び売掛金	16,414	16,934
有価証券	99	99
商品及び製品	1,777	2,037
仕掛品	36	27
原材料及び貯蔵品	351	243
未収入金	3,520	3,510
その他	52	64
貸倒引当金	△5	△6
流動資産合計	34,271	33,276
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,579	10,582
減価償却累計額	△8,469	△8,516
建物及び構築物(純額)	2,110	2,066
機械装置及び運搬具	1,864	1,852
減価償却累計額	△1,662	△1,641
機械装置及び運搬具(純額)	201	211
土地	10,602	10,602
建設仮勘定	2,197	3,171
その他	1,369	1,378
減価償却累計額	△1,248	△1,270
その他(純額)	120	108
有形固定資産合計	15,232	16,159
無形固定資産		
ソフトウェア	159	147
その他	50	48
無形固定資産合計	210	195
投資その他の資産		
投資有価証券	12,493	12,435
長期貸付金	168	163
繰延税金資産	0	0
差入保証金	1,962	1,959
その他	200	195
貸倒引当金	△131	△131
投資その他の資産合計	14,693	14,623
固定資産合計	30,136	30,978
資産合計	64,407	64,255

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,025	19,733
短期借入金	1,836	1,786
未払法人税等	1,037	206
賞与引当金	65	35
その他	1,893	1,874
流動負債合計	23,858	23,636
固定負債		
長期借入金	22	18
繰延税金負債	1,813	1,846
役員退職慰労引当金	13	13
退職給付に係る負債	354	376
その他	187	199
固定負債合計	2,390	2,454
負債合計	26,249	26,090
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,599	5,599
資本剰余金	5,588	5,588
利益剰余金	22,027	22,098
自己株式	△1,155	△1,155
株主資本合計	32,059	32,130
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,513	5,464
退職給付に係る調整累計額	165	149
その他の包括利益累計額合計	5,679	5,614
非支配株主持分	419	419
純資産合計	38,158	38,164
負債純資産合計	64,407	64,255

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	30,193	30,336
売上原価	28,251	28,146
売上総利益	1,942	2,190
販売費及び一般管理費	1,611	1,623
営業利益	330	567
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	132	154
その他	29	22
営業外収益合計	165	179
営業外費用		
支払利息	3	3
その他	0	0
営業外費用合計	3	3
経常利益	492	742
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産処分損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	492	742
法人税、住民税及び事業税	74	165
法人税等調整額	72	61
法人税等合計	147	227
四半期純利益	344	514
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	342	512

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	344	514
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	394	△50
退職給付に係る調整額	0	△15
その他の包括利益合計	395	△65
四半期包括利益	739	449
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	736	447
非支配株主に係る四半期包括利益	3	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	商事部門	ホテル部門	不動産部門	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	29,482	655	55	30,193	—	30,193
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	6	0	13	19	△19	—
計	29,488	655	68	30,212	△19	30,193
セグメント利益	326	160	54	541	△210	330

(注) 1. セグメント利益の調整額△210百万円には、のれん償却額△2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△213百万円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・人事・経理・情報システム部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	商事部門	ホテル部門	不動産部門	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	29,474	794	68	30,336	—	30,336
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	8	0	13	21	△21	—
計	29,482	794	81	30,358	△21	30,336
セグメント利益	411	280	64	756	△188	567

(注) 1. セグメント利益の調整額△188百万円には、のれん償却額△2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△188百万円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・人事・経理・情報システム部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	88百万円	90百万円
のれんの償却額	2	2

### 3. 補足情報

#### (1) 販売の状況

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	前年同期比
食品（酒類・飲料含む）	18,923	19,015	100.5
業務用商品	5,156	5,120	99.3
米穀	1,531	1,744	113.9
飼料・畜産	3,871	3,594	92.8
商事部門計	29,482	29,474	100.0
ホテル部門	655	794	121.2
不動産部門	55	68	122.3
合計	30,193	30,336	100.5